

## 第1回 香川レインボー映画祭 実施報告書

香川レインボー映画祭実行委員会  
代表：藤田博美

(香川レインボー映画祭実行委員会 実行委員長)

〒760-0032 高松市本町 4-12-205 代表電話番号：087-811-7665

映画祭メールアドレス：kagawa\_rff@yahoo.co.jp

映画祭ホームページ：http://www.geocities.jp/kagawa\_rff/

### 1. 実施概要

日 程	2005年10月9日(日) 1日間
会 場	e-とぴあ・かがわ(サンポート高松シンボルトワー4、5階) BBスクエア
主 催	香川レインボー映画祭実行委員会
後 援	プラウド in 香川
規 模	3プログラム(9作品) 日本国内で制作されたインディーズムービーを中心に上映
来場ゲスト	大木裕之監督【homme(レインボーmix)】/尾川ルル監督【My Sexuality ～私の好きな性別～】/「ヘテロ薬」制作委員会【「ヘテロ薬」】/ 尾辻かな子大阪府議会議員/大里圭介監督【男でつらいよ～源次郎の恋～】/ 山沖亜矢監督【五色(いついろ)】(出演順)
協 賛	NPO 法人アカー/collection/S A T(国民性無き全世界協会)レインボーフラクション/自助支援グループ GQBUS/スナックぼうや/スナックらくがき/ BAR 次元/バディ(テラ出版)/ブレイクスルー/有限会社ジーププロジェクト /Lagoon/ROUGH/-555-岡山(50音順)

### 2. プログラム内容

開始時間	プ ロ グ ラ ム	
13:00～	Aプログラム	Queer Boys and Girls on the SHINKANSEN
		homme -オム- (レインボーmix)
15:00～	Bプログラム	My Sexuality ～私の好きな性別～
		「ヘテロ薬」
		パペット劇場～愛、以外。～
17:00～	Cプログラム	No Time No Place
		仲直り
		男でつらいよ～源次郎の恋～
		五色(いついろ)

### 3. 観客動員

Aプログラム：101人（座席稼働率 77.7%）

Bプログラム：95人（座席稼働率 73.1%）

Cプログラム：114人（座席稼働率 87.7%）

延べ来場者：310人（座席稼働率 79.5%）

※座席数は130席として計算。

### 4. 広報活動

#### 1) チラシ

第1弾チラシ1760枚（A6サイズ：単色）。第2弾チラシ5000枚（A5サイズ：カラー）。  
中四国を中心としてイベント、ショップ、大学、専門学校等で配布。

#### 2) ポスター

100枚（A2サイズ：カラー）チラシと共に配布。

#### 3) ウェブサイト

公式HP [http://www.geocities.jp/kagawa\\_rff/](http://www.geocities.jp/kagawa_rff/)

（K O - M E N、バディジェーパー、Rainbow Net Japan、他で紹介）

#### 4) 新聞（50音順）

朝日新聞香川版、四国新聞、四国新聞オアシス、毎日新聞香川版、読売新聞香川版

#### 5) 雑誌（50音順）

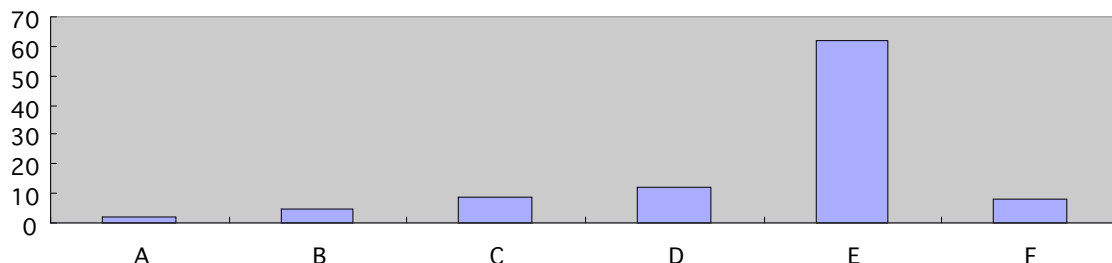
香川こまち、TJ Kagawa、NICE TOWN、ほっとこうち、ミュウミュウ

## 5. アンケート結果

回答数 81名

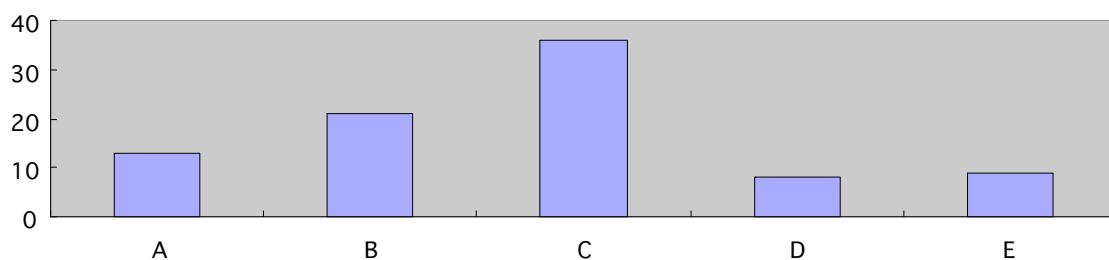
### Q1：この映画祭を何でお知りになりましたか？

A雑誌(2%) B新聞(5%) Cウェブ(9%) Dポスター・チラシ(12%) E友人から(62%) Fその他(8%)



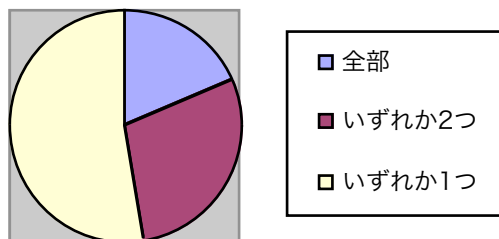
### Q2：映画祭に来場されたきっかけは何ですか？

A見たい映画があったから(13%) B友人に誘われたので(21%)  
Cジェンダーやセクシャルマイノリティをテーマにしたイベント全般に興味があるから(36%)  
D東京・関西の映画祭に行っていたから(8%) Eその他(9%)



### Q3-1：プログラムでご覧になったもの

A全部(18%) Bいずれか2つ(28%) Cいずれか1つ(51%)



### Q3-2：印象に残ったプログラムの感想（抜粋）

- ・ すごく親近感を持てた。
- ・ おもしろかった。また来たい。
- ・ なんだか日常的な感じが良かった。
- ・ 普通でびっくりした。
- ・ 自分だったらどうするのか？って考えてしまった。

- ・ 少し涙が出た。
- ・ 同性同士も異性との恋愛も同じだなと感じた。
- ・ 視野も広がったし、意識も変わった気がする。
- ・ マイノリティ関係の作品を見るのは初めてだったので、うれしかった。

**Q4：その他の意見・感想（抜粋）**

- ・ これが2、3回とされることを希望。
- ・ いろいろなゲストの方にびっくり&うれしかった。
- ・ キレイな施設で、とても来やすかった。
- ・ のぼりを持っている人がいたのも良かった。
- ・ スタッフの方々的一生懸命さにも、とても心を動かされた。
- ・ とても居心地の良い映画祭。
- ・ 聴覚障害者なので日本語字幕はうれしかった。
- ・ 自分も何かをしたいと感じた。

**6. 会計報告**

収 入	チケット売上：前売券、当日券	¥249,800
	カンパ収入：個人サポーター、団体からのカンパ	¥106,235
	協賛収入：お店、団体からの協賛	¥85,000
	物品売上：会場での書籍、グッズ販売等	¥134,875
	収入合計	¥575,910
支 出	会場費：前日設営、当日	¥52,500
	作品上映料等：作品料、作品送料、ゲスト出演料等	¥68,765
	広告宣伝費、印刷費：チラシ、ポスター制作費、発送費等	¥144,192
	物品仕入れ：会場での書籍、グッズ販売等	¥132,818
	その他：事務用品、記録費等	¥59,696
	支出合計	¥457,971
収 支	繰越金：次回の実行委員会へ繰越	¥117,939

## 7. 総括

第1回香川レインボー映画祭は目的として、1) 映画祭を通じて、性の多様性に関してポジティブな共通認識を得る。2) 映画祭を通じて、LGBTI の交流の場を提供する。以上の2点が挙げられていた。

第1回香川レインボー映画祭は、1日開催という規模にもかかわらず、JR高松駅前という好立地に会場を得ることが出来、延べ310人もの観客を動員することが出来た。観客へのアンケートを実施したところ、「ぜひ継続を」と多くの励ましの言葉を見ることができた。また、アンケート結果からは、ジェンダーやセクシュアリティに関するイベントへの関心の高さや、当地域でのセクシュアリティ関連イベントのニーズの高さが伺えた。一方で、「初めてこのようなイベントに来場した」というような声からは、いつもはセクシュアリティ関連イベントなどになかなか足を運ぶ機会のない人々へも、映画という媒体を通して関心を喚起させ、普段着で来られるような場の提供ができたのではないかと思われる。また、東京、関西の映画祭への参加者が引き続き来場している結果から、当地域での意義のみならず、より広い視野から映画祭がこのように各地で開催される意義を考えていけるものと思われる。作品への満足度も高く、各プログラム多くの観客が動員され、また、より日常的な日本のインディーズ作品を集めたプログラムに、観客からは「親近感を持てた」とセクシュアリティの多様さを身近に感じて頂けたようである。このような結果から、本映画祭の目的は十分に達成されたものであると考えることが出来るだろう。

今後も、作品の多様性と精度を高め、また、より一層広報活動にも力を注ぐことにより、多くの人々にこの場を提供し続けていきたいと考える。本映画祭スタッフ25名は全員がボランティアであり、このようなスタッフの熱意、また、来場者はもちろん、スポンサーのからの広告料、様々な支援協力団体や個人サポーターに支えられて、この映画祭が開催されたことは特記すべきことである。このような支援団体、また個人とのつながりを今後も大切に、またネットワークを広げていくことが重要であると考えている。